

「地域における公益的な取組」

1 施設名

沼木敬寿園

2 取組の名称

環境美化

3 取組内容について

① 具体的な内容

1、沼木敬寿園は町内会へ入会しており、年に2回「春の一斉清掃」「秋の一斉清掃」へ職員5～6名が毎年参加し、町内で定めた場所のゴミ拾い、草取り等、春には道路側溝の土砂上げを町民と一緒にやっている。

2、施設内外の「5 S活動」（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ）を行っている。また、衛生委員会での「5 S・K Y活動推進チーム」が、職場内外を巡視し、5 Sが必要な場所を写真に収めて、全職員で「5 S活動」を行っている。

② 実施に至る経緯

1、回覧板をとおして、年2回「一斉清掃」の案内（お知らせ）を確認している。

2、平成24年沼木敬寿園開所当初より、施設の「事業計画書」へ「5 S活動」が組み入れられており、各委員会終了後に短時間ではあるが、自主的に委員が職場環境改善のため施設内外の掃除等の取り組みを数年前より行っている。

③ 参加対象者及び参加費用

1、2、参加対象者は職員であり、参加費用はかからない。

④ 予算や人員体制など

1、2、人員体制は全職員対象で、勤務調整し勤務時間内に5 S活動を行っている。

⑤ 取組による変化や効果

1、町内の「一斉清掃」は地域貢献活動の1つでもあり、年2回ではあるが地域の一員として積極的に挨拶や会話を通して地域住民との交流を図り、施設のPRもさりげなく行いながら、施設を少しでも知って頂く良い機会となっている。

2、新人職員には入職時に5 S活動の説明を行い、定期的な5 S活動の継続で、全職員5 S活動の意識は持っている。施設見学者から「明るくて、きれいな施設ですね」と評価されると、5 S活動の大事さを実感し継続できている。

⑥ 今後の展望

1、「一斉清掃」時には積極的に挨拶を行い、ユニホーム着用しての参加でもあり、地域住民の方々とも顔なじみになっている。今後も地域の一員として、「一斉清掃」だけではなく、様々な地域貢献活動へ参加していきたい。

2、掃除等をすることは当たり前ではあるが、継続できない現状もあるため、全職員の習慣付けがとても重要である。利用者の安全な生活と働きやすい職場環境のため、全職員同じ意識で足並み揃えてこれからも「5 s活動」を継続していきたい。

4 取り組みの様子

